地域のシンボル

上総式（かずさ） 手掘り井戸づくり

井戸の前で

完成式風景
平成23年12月18日

この度、㈶長岡京水資源対策基金の助成を受け、地域コミュニティ協議会の発足を期して、ボランティアの方々による「手掘りによる井戸掘り」に取り組みました。

当初不安もありましたが、長四小出身の海堀あゆみ選手らの大活躍で「なでしこジャパン」がワールドカップ優勝を決めた7月18日に井戸掘りをスタートさせました。約300人のボランティアの方々や長四小学校の児童、乙訓高校野球部の諸君も参加いただき多いに盛り上がりを見せる中、7月23日に目標の12mまで掘り進みましたが、結果的に地下水の量が少なく水を汲み上げることが出来なかったことは非常に残念でなりません。

その後、種々議論を重ね、機械でさらに掘る事を決定し、30mまで掘り進めたところで地下水が毎分40ℓ出ることが確認できました。

この間多くの地域のボランティアの方々に参加いただいたことは協議会にとって大きな成果であり、一つの目的は達成出来たと思います。

今後は、非常時に利用することは勿論のこと、学校農園への散布や食育に活用し、また、子どもたちに地下水の大切さを啓発するなど、地域コミュニティのシンボルにして参ります。

最後に、本事業に取り組むに当たり、多くボランティアの方々、また、㈶長岡京水資源対策基金はもとより側面よりご指導いただいた行政の方々、そして地域の企業の方々、特にポンプを設置するにあたり多大のご厚情を賜りましたヤマキ商事㈱代表取締役社長 山木 紘様、本事業に当初からご指導いただいた㈱甲田工業所 代表取締役 甲田 忠司 様、とりわけ約5ヶ月の間ご指導いただいた齊ノ内 清一 様には心より感謝し厚く御礼申し上げます。

長岡第四小学校区
地域コミュニティ協議会長　長谷川　潔

協賛各社
株式会社甲田工業所　ヤマキ商事株式会社　西山石材商店
株式会社鞆岡工務店　株式会社鎌田鉄工所　小倉工務店　株式会社鈴木印刷ショップ

平成24年　2月　吉日　発行
長岡第四小学校区地域コミュニティ協議会

地域コミュニティの絆

小田　豊（長岡京市長）

長岡第四小学校区地域コミュニティ協議会による「地域交流井戸」を完成されましたことを、心からお祝い申し上げます。

本事業は、平成23年7月から約300名の校区の皆さんがボランティアにより、井戸の手掘り作業等に取り組まれ、地域コミュニティの醸成に寄与するとともに、地域のことを一番よく知っておられる皆さんによる特色ある主体的なまちづくりのひとつの成功事例ではないかと、確信しております。

完成を迎えられましたのも、長谷川会長をはじめ、関係者の皆様方のたゆまぬご努力とご労苦によるものと、深く敬意を表する次第でございます。

今後は、平常時には、学校菜園やビオトープの用水として、災害時には、災害用マンホールトイレなどで使用する生活用水として活用されますとともに、校区のシンボルとしてコミュニティの輪が広がりますことを期待しております。

結びにあたりまして、地域コミュニティ協議会の益々のご発展と、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

地下水の恩恵

小原　勉（㈶長岡京水資源対策基金　理事長）

地域の皆様のお力により、「地域交流井戸」を完成されましたことを、心よりお祝い申し上げます。

㈶長岡京水資源対策基金では、地下水を守り育てるために、地下水かん養の機能を持つ西山の整備を支援するなど、いろいろな活動を行っております。

平成23年度からは、「地域交流井戸整備活動助成金」制度を創設し、地下水の大切さを知っていただくため、市内の小学校で手掘りによる井戸の掘削や周辺の整備を行う活動に助成することといたしました。

この度、手掘りによる「地域交流井戸」の整備として、長岡第四小学校区地域コミュニティ協議会が第一号としていち早く取り組まれ、手掘りとこれに続く機械掘りにより、見事井戸を完成されたことは大変意義深く、心よりお喜び申し上げます。

今後は、この井戸がこれから続く他の小学校の良いモデルケースになるとともに、地域のコミュニティづくりの象徴となり、子どもたちに長岡京市の地下水の恩恵とその重要性を啓発するため、大いに活用されることを切に希望いたします。

30M掘削で地下水があふれ出る

1. 掘削準備

①

③

④

②

①粘土水を貯めるためのドラム缶を入れる下穴を長四小児童がお手伝い(7月12日)

②掘鉄管(ほりてっかん)を引くための櫓(やぐら)の設置(7月17日)

③掘鉄管につなぐための竹ひご作り(7月17日)

④準備完了、試し掘りを実施(7月17日)

2. 手掘り開始

②

①

③

④

①台風7号の影響であいにくの雨の中での着工式(7月18日)

②５人一組で、掘鉄管を引き上げるロープを引く

③スポーツ少年団の女子児童が協力(7月22日)

④乙訓高校野球部員も協力(7月23日)

3. ついに達成

①

②

②

①掘り始めてから約一週間で目標の12mに到達(7月23日)

②手押しポンプで水を汲み上げたが、水量が少なく残念(7月25日)

4. 機械掘りで再開

①

②

①11月7日から再開し、3日間で深さ30mを掘り、待望の地下水を確保(11月9日)

②鋼管を打ち込んでいる時、地下16mより地下水があふれ出る(11月8日)

5. 完　成

手掘りによる井戸掘りにとりかかってから約5カ月で井戸が完成(12月17日)